

一時帰国して感じたこと

みなさんこんにちは。気がつけば 9 月。長かった夏休みも終わってしまいました。こちらも 8/27(月)から 2 学期が始まっています。始業してわずか 1 週間なのですが、もう 1 か月くらい働いた気が…。子ども達の元気に取り残されないよう、頑張りたいと思います。

そんな 2 学期初休日の昨日、車で 40 分位のところに新しい『イオン』が開店したと聞き、家族で買い物に行きました。こちらのイオンは地元の『オレンジ』というスーパー・マーケットと合併して営業をしています。そのためミャンマーの品物の中にイオンブランドや日本の製品が一緒に売られているという感じです。ですが、店内に入ってみるとレイアウトは日本式そのもの。整然と並ぶ品物を見て、ヤンゴンの中にも日本を感じたところです。



こんな話から始まりましたが…実は先月号でもお伝えしたように、日本に一時帰国していました。ヤンゴンは文部科学省の指定する『勤務環境が特に厳しい地に所在する在外教育施設』ということで、2 年目の夏から長期休業などをを利用して日本に帰ることが認められているのです。その制度を使って、今回日本の夏を堪能させてもらいました。



ヤンゴンからの直行便で 8 時間。成田空港に到着しイミグレーションに向かうエスカレーターで『おかえりなさい』の文字を見た時、「ああ、日本に帰ってきたんだなあ」という気持ちがしみじみと湧いてきました。しかし感傷に使っているのは一時でした。その後の『日本の変化』にもの凄くびっくりしました。

まずは入管手続き。一般的には係官のいる窓口に並び、パスポートと入管用の用紙を手渡しパスポートに捺印してもらうという手続きなのですが、窓口に行くと見慣れない機械が並んでいる。係員の方に『顔写真ページを開いてスキャナに載せて、カメラの方を向いてください』と言われたのでその通りにすると、ゲートが開いてなんと入管手続きが一瞬で終わってしまいました。



荷物を受け取り空港内に入ってもびっくり。案内表示がいたるところにあり、各国対応の言語表示がされています。それ以外にもシャワールームなどの設備や、外国人向けのトラベラーズ SIM の自動販売機、ポケット Wi-fi のレンタル店があったり、極めつけは今まで携帯電話の充電スペースはほとんどなかったはずなのに、いたるところにある充電ポスト…これらの変化はきっと 2020 年のオリンピックに向け行われているものなのですね。あまりの変化に『浦島太郎』になった気分でした。シンガポールのチャンギ空港に行った時に『やっぱり外国の空港って凄いんだなあ』と感じましたが、この変化を見ると『さすが日本』とうなづきました。世界中の人が『初めての』日本に来たとしても、不自由なく使うことができる。こういうところから国際理解を考えてみるのも面白いなと感じました。

帯広に戻った後は私と妻の実家に滞在していましたが、この間たくさんの人と会って話をすることができました。みなさん、お忙しい中時間を割いていただき本当にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

みなさんに会って私が感じたこと。それは『こんなにもたくさんの方達が私たち家族のことを気にかけていてくれ、応援してくれていたんだ』ということです。1 年前の 4 月。ヤンゴンに発つ日の朝、ホテルで赴任に至るまでのことを思い返した時に『本当にたくさんの方たちに支えてもらった。そのおかげで今がある』と考えたのを今でも覚えています。しかしながら日々に追われ、慣れない環境の中で過ごしていくことで、その想いが自分でも気づかぬうちに薄れてしまっていたのでした。今回日本に戻りたくさんの方とお会いして話をするうちに、あたらめて周りの方に『感謝する』事を意識できました。『健全な肉体には健全な精神が宿る』という言葉がありますが、これは逆もまた然りです。『たくさんの人が見ててくれて支えている』と感じることで、残り 1 年半の任期を頑張れると確信し、ヤンゴンに戻りました。

わずか数週間の滞在でしたが、日本に帰ることで色々なことを感じることができました。今回日本で感じたことを大切にしつつ、こちらの生活でさらに色々なことを発見し、2020 年 3 月に日本に戻りたいと思います。

それではまた来月、こちらでの生活をお届けしたいと思います。

